

## Topic

## COLUMN: 先生紹介 ▶ 坂本 みつき (RED WOOD Kids)



初めまして！4月1日に上本町に新規開校する英語学童RED WOOD Kidsの坂本みつきです。自己紹介ということで、4人の先生にいただいた質問に答えていきます。

## Q1. Tell me about your self.

A. 私は世界の言語、文化、食べ物に触れるのが好きで、世界一周の旅するのが夢です。幼少期は毎週金曜日にピアノ教室に通っていました。先生がとても厳しくて泣きながら練習することもありませんでしたが、コンテストで入賞することもありました。現在はピギナーレッスンで教えたり、結婚式の場などで演奏することがあったりと、今でもピアノを愛しているのは熱心に指導して下さった先生のおかげです。

## Q2. どんな学生時代だった？

A. 中学時代はバレーボール部に所属し、セッターとしてレギュラーで活動していました。今でもよく

夢に出てくるほど熱中していました。学校生活では2年生、3年生の担任だった先生のことが強く印象に残っています。その先生は私達の学年の入学と同時に教員1年目として教師になられたのですが、生徒1人1人のことをよく見ていて、対話することを大切にされていたように思います。こんなに心で向き合ってくれる先生がいるのかと驚きました。今でも「あの時はありがとう」と伝えたいです。

## Q3. 長所を教えてください。

A. 私の長所は学びたい気持ちがあることです。おばあちゃんになってもいつも新しいことを学び続けたいと思っています。しかし私は学生時代、勉強が好きだったわけではありません。小学校高学年から勉強が苦手だと思ふようになり、中学2年生の後半に思い切ってそれまで通っていた塾とは別の塾に相談をしに行きました。中学1年、2年の勉強にも不安があると伝えると、高校入試を控え受験勉強に集中するべき時期であるのに、中学1年の勉強から見直しましょうとカリキュラムを組んでくださり、本当に中学1年の勉強からやり直しました。苦手だと思っていたところも分かるようになりますと楽しくなり、学ぶ楽しさに気付くことができ



ました。  
Q4. どうしてRED WOOD Kidsで子供達に英語を教えたいと思った？  
A. 私は長い間英語は難しいものだと思っていましたが、ある先生に「英語はシンプルで簡単」だということ、「間違えて大丈夫だから、どんどん話してそこから学べばいい」ということを教わってから、英語のイメージがガラッと変わり、英語に対する姿勢も変化しました。これをもっと早く知っていたら…という思いから、子供達にははじめてから英語の段差を感じてほしくないと思ったからです。他にも保育園の先生、ピアノの先生、学童の先生、中学の先生、部活の顧問の先生、塾の先生…当時は卒業したら終わってしまうと思っていた先生方との関係、影響が今でも強く残っていることから、私も子供達が将来、学生時代を振り返ったときに思い出してもらえそうな先生になりたいです。

## かリーナのちょっといい話

TEACHER'S VOICE Talking Kids Katrina Fujikawa

### Reading and Comprehension “Minding Details” 読解力の「考察」

The importance of reading skills cannot be stressed enough. As teacher, I always have an experience that when I express my concern about a child's reading ability and comprehension to parents, particularly at young age, parents are quite taken aback and I'm greeted with "but they're so young, give them a chance."

When a teacher shows concern in this area, it is with due cause. Reading is fundamental in helping us find and convey information. It's an essential skill that's developed at a very young age. Reading helps us discover the world.

Here are a few reasons why reading and comprehension is important.

1. Reading is great for improving our vocabulary and communication. Giving our students access to a world of words is one of the best ways to improve their vocabulary and enhance their spelling skills. Both their written and spoken communication abilities can be improved through regular reading and will allow them to expand their vocabulary, memorize it better, and opens up a vast world of knowledge.
2. Reading is very good for our grammar. Like vocabulary, while reading, you will come across a variety of grammar structures, both familiar and new, in a variety of different context, this will expand your grammar and committing it to memory.
3. Reading helps with building a good self-image and

playing well with others. Learning new concepts is a key to building a well-rounded self-image – not to mention the self-esteem boost from being able to read well! It's at early ages that children can be most easily influenced.

4. Reading is convenient to practice. Practicing English regularly is very important. To start reading we just need to open a book. Maybe not even that: if we are not against electronic books, we can have a whole library in our smartphone. Kindle is the key! Kaichi Sogo Gakuin is now aiming to help our students enhance their reading and comprehensions skills and make sure that they will have a lot of fun doing it!

読解力は強調しても強調しすぎることはないほど重要なスキルです。講師として、子供達の読解力への心配を保護者の方に話すと、保護者の方は驚いて、「でも、まだ小さいので、様子を見て下さい」とおっしゃられます。しかし、私達が心配するには、それ相応の理由があります。読解力は、私達が情報を見つけて伝えるのを助ける上での基本です。それは幼い時期から発達する不可欠なスキルです。読書は私達が世界を発見する手助けをしてくれます。読解力が重要である理由はいくつかあります。

1. 読書は、語彙力とコミュニケーション力を向上させるのに最適です。生徒に言葉の世界にアクセスさせることは、語彙を改善し、スペルスキルを向

上させる最良の方法の一つです。書く力と話す力両方のコミュニケーション能力は、定期的に読むことで向上し、語彙を増やし、よりよく覚えることで、広大な知識の世界を開くことができます。

2. 読むことは文法習得にとっても良いことです。語彙を学ぶのと同様に、読んでいる間、あなたはさまざまな文脈で、慣れ親しんだものと新しいものの両方のさまざまな文法構造に出くわします。そうすることで、文法の知識が広がり、覚えることができます。

3. 読書は、よい自己へのイメージの確立と、他人と良好な関係を築く力を養います。新しい概念を学ぶことは、バランスの取れた自己のイメージを構築するための鍵です。もちろん、読書をしっかり行うことで自尊心が育まれることは言うまでもありません。読書の影響を最も受けやすい時期は幼少期です。

4. 読書は練習に便利です。定期的に英語を練習することは非常に重要です。私達は本を開かなければ読み始めることはできません。でももし、電子書籍に反対でなければ、その必要はありません。スマートフォンにライブラリ全体を納めておくこともできます。その時はKindleが鍵です！

開智総合学院は、生徒達が読解力を高め、楽しく過ごせるよう支援することを目指しています。



## 生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

# Growing

March 2021 Vol. 102 毎月10日発行

【本 部】  
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201  
TEL.06-6939-0008

【今福教室】  
城東区今福西 2-9-20  
TEL.06-6934-4662  
【諸口教室】  
鶴見区諸口 4-14-9-1F  
TEL.06-6912-3984  
【今津教室】  
鶴見区今津南 1-6-2-1F  
TEL.06-6167-9722  
【高殿教室】  
城東区成育 5-22-10-2F  
TEL.06-6786-1008  
【エニグマ】  
中央区谷町 9-4-5-3F  
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】  
城東区今福西 2-16-8  
TEL.06-6931-2000  
【関目教室】  
城東区関目 4-6-17-2F・3F  
TEL.06-6934-8117  
【古市教室】  
城東区古市 3-21-8  
TEL.06-6931-0467  
【カイチ予備校】  
城東区今福西 1-10-17  
TEL.06-6935-2220  
【万緑会】  
天王寺区上本町 6-9-10-3F  
TEL.06-6772-5011

## さようなら健先生



高木 秀章 (塾長)

去る2月4日、開智総合学院の創業者でもあり会長の高木健先生が亡くなりました。享年80歳でした。

今では健先生のことを知っている先生や生徒もすっかり減ってしまいましたが、毎年珠算競技会に来て、選手みんなの前で話をしてくれていました。健先生は、本当にそろばんが大好きで、毎年珠算協議会を楽しみにしていました。大会を見る度に、「十景の読み上げ算を正解できるなんて、わしらの時代では考えられへんかった。すごい子供達や。それを育てる先生達もすごい。」と嬉しそうにしていました。

昔はよく、健先生と私で今福の3階の2教室で授業をすることがありました。私が授業をしていると、とにかく隣の健先生の教室が盛り上がり。当時は私も20代。若さで一杯教えるのですが、隣で授業している健先生の教室の勢いにどうしても飲まれてしまう。そんなある日、健先生がどんな授業をしているのかが気になって、こっそり隣の教室をのぞきました。すると、健先生は「今からそろばんで水泳速算をしまーす!」と言って、なんと上半身下着姿になっていました。とにかく子供達を喜ばせたい。そして、そのことを一緒に楽しんでしまおう。「この人にはかなわない。」と思われたエピソードでした。

高木家では健先生による2つの方針がありました。1つは「必ず1日1時間勉強すること」そして2つめが「大学の学費代を稼ぐために塾を手伝うこと」でした。

1つ目の1時間勉強は毎晩夜の8時～9時と決まっていた、勉強しろとは決して言われません。その代わりに8時になってテレビを見ていると蹴飛ばされる。大人は大人の、子供には子供の仕事があるという考えで、逆にそれを守ればとやかくは言われませんでした。

2つ目の塾の手伝いは、「塾ほど生きるために多くを学べる場はない」という健先生の考えから生じたものでした。私も大学合格と共に今福の塾に連れてこられ、「今日から教える」と言われ、その夜から理科を教え始めました。なんのレクチャーもなく「今日からやれ」です。幸いにも兄が先に大学に入り塾をやっていて、それを見てまさに体で覚えていきました。

授業が終わり、くたくたになって帰ると、健先生が待っていて「今日どうやった?」とうれしそうに聞いてきます。私が塾での話をすると、健先生は朝の2時になるかと3時になるかと、コーヒーを飲みながら熱心に話を聞いてくれました。私はとにかく健先生が話を聞いてくれるのがうれしくて、その時間が大好きでした。健先生と話す、不思議と勇気が湧いてきて、「明日はこれを試してみよう、ここはこう変えてみよう」とアイデアが湧いてきます。翌日はそのアイデアを試して、また夜を徹して健先生と話す。その習慣は私が26歳で結婚するまでずっと続きました。

健先生は、私の話はよく聞いてくれましたが、決して手出しをしませんでした。話を聞き、アイデアを議論しますが、やるのは自分。そして、その結果を嬉しそうに聞きます。ある日、私がそろばん塾を健先生の代わりにやってみたくて言い出した時も、健先生は自分で直接そろばんの技術を教えずに、別の先生に連絡をして私の指導をお願いしました。おそらく、そうすることで私が健先生に習うよりも謙虚な姿勢で学び、珠算指導だけでなく仕事に取り組む姿勢などを真摯に学ぶと考えたのだと思います。

私の大学生活が終わりに近づき、私が塾で働くことを決めると、私の母がこのまま社会に出ず塾に入ることで世間が狭くなることを心配しました。その時、健先生は「社会が狭まるのが心配なら、仕事を通じて社会を広げる。そのように努力すればいい」と話して背中を押してくれました。

健先生は私に、塾の仕事を通して社会で生きるための「実学」を教えてくださいました。毎日、毎日、深夜まで話し、それを実行する。その手応えの中で、次すべきことへの気づきがあり、それをまた話し合う。そのようにして、単に知っている「知識」を経験や知恵が伴った「実学」に変えていく。これは、生徒指導の根底にも、講師育成の根底にもあるべき哲学だと考えています。

私は、これからもずっと健先生が与えてくれたこの塾という答えのない問題集に挑み続けます。今度は、私が健先生がしてくれたように、皆と同じ目線で、それを楽しみながら。

## Focus



## CLASSROOM REPORT 教室レポート

いよいよ公立入試。  
みんななら必ずやれる。

熊谷 周作 (今津教室)

少しずつ温かくなり、春の訪れを感じる今日この頃です。

私立入試が2月10日に行われ、無事178名の生徒達全員が合格しました。受験生の皆さん、おめでとうございます。

私立・国立入試結果の詳細については、挟み込み資料で詳しくお知らせしていますが、塾生の4割以上が偏差値60以上(併願者は進研模試の併願偏差値で換算)の高校に合格、また全体で24人の生徒が特待生を獲得するなど、素晴らしい結果であったと思います。今は、毎週の大予想模試で合否予想が付きプレッシャーのかかる毎日です。

さて今年の受験生ですが、本当に大変な一年だったと思います。一言で「コロナだから…」そんな簡単な言葉で済ませてはいけない長い月日でした。学校選び一つをとってもどんなに大変なことだったのでしょうか。学校見学に行きたくても行けない。予約を入れても抽選に漏れたり、直前で中止になったり、受験を左右する五ツ木の模試や、英語検定の日程と重なり行けなかったりした生徒もいました。また映像だけの説明会も多々行われました。実際に目にして、学校に通う生徒の様子を見ることなく学校選びを迫られ、「本当にこれでいいのだろうか?」と多くの生徒が悩みました。もちろん生徒だけではなく、例年以上に保護者



▲風邪にも負けず、誘惑にも負けず、毎日自習に励みました。

の方からの相談も増えました。子供達への接し方、声掛けの仕方など、子供達のメンタルに対する相談が多かったように思います。

入試は人生におけるビッグイベントの一つです。受験期の過ごし方が、今後の人生を左右すると言っても過言ではありません。ですから、目標とする学校選びは慎重にならざるをえません。それを適切に選ぶための環境すら整わない、そんな1年だったのではないのでしょうか。直前で受験校を悩み、変更する生徒も多かったように思います。しかし、こうして悩みに悩み抜いた学校だからこそ、合格後はその高校を好きになり、楽しんでもらいたいと思います。

受験生達は本当によく頑張りました。毎日のように自習室に来て努力を重ねる姿を見て、私たちが逆に、「こんなにみんな頑張っているのだから、最後まで諦めてはいけない」と考えさせられることもありました。

結果、例年と同じように偏差値を上げ、今年も例年と同じように6ポイント上昇を達成しました。また、文理学科生達も直前の塾内大予想模試で全員合格基準に達するという快挙を達成しました。

カイチのシステムは、目標を持ちやり抜くことの大切さ・自主性の育成に重きを置いています。これは指導している私達講師にもそのまま当てはまることですが、子供達もその考えに則り

▼叱られることもありましたが、目標としていたコースに合格しました。オメデトウ!!



最後まで、強くたくましく受験勉強をやり抜いてくれたのだと思います。

このGROWINGが皆さんのお手元に届くころにはもう結果が出ているかもしれません。君たちならやれる。必ず全員合格できる。

いろんな塾がある中、カイチを選んでくれてありがとう。その期待に少しでもお答えできるように、今後も日々研鑽を重ねて、最高の結果を残せるように頑張りたいと思います。



▲どんな些細なことでも質問し、とことん突き詰めます!!さすがカイチ歴5年!!

## Education



## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

小中学生のみなさん、  
大学入試に向けた勝負は  
もう始まっています!

熊谷 真宏 (カイチ予備校)

カイチ初の大学受験専門校舎として開校したカイチ予備校もこの3月で3年が経過し、4年目のシーズンを迎えます。昨年度は3年目にして初めて国公立大や難関私立大に挑戦する生徒達を受け持つと同時に、高1から通っていている生徒たちが受験する初年度でもありました。そのため、カイチ予備校で教えている我々にとっては3年間の指導の成果が問われる重要な年という位置づけでした。



この記事を書いているのは2月24日ですが、その1週間前に大阪市立大学の学校推薦型選抜(いわゆる推薦入試)の合格発表と、難関私立大学である関西大学の合格発表が同日にありました。大阪市立大学を受験したのが3名、関西大学が7名。新型コロナウイルスの影響を受けて受験生にとっては例年以上に厳しい条件での入試でしたが、結果は大阪市立大学に2名、関西大学に5名が合格しました。そして2月25日には国公立大学の一般選抜の前期試験があり、6名の生徒が受験します。この記事を書いているのがまさにその前日ですが、みんな最後まで自習室に来て頑張っていました。このGrowingが出る頃にはすでに合否結果が出ていることとなりますが、全員が持てる力をすべて発揮して合格を勝ち取ってほしいと思います。

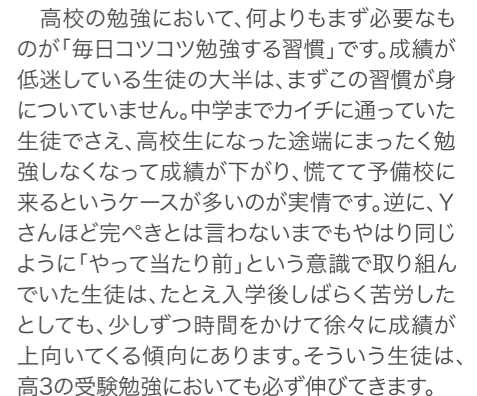
さて、「大学入試」と言われても小中学生の皆さんはあまりイメージが湧かないでしょうし、まだしばらく先の話だと感じていらっしゃる保護者の方も多いのが実情ではないでしょうか。それが普通といえれば普通なのですが、カイチに通われている生徒とその保護者の方々にはぜひ知っておいてほしい大切なことがあります。それは「小学校からの日頃の勉強への取り組み方が大学入試に直結している」ということです。これ

は幼児教育から大学受験まで一貫した指導をすることができる開智総合学院という塾だからこそ、その経験を踏まえてみなさんにお伝えできる事実です。



先ほどの大阪市立大学に合格した生徒で、Yさんという生徒がいます。この生徒は7歳のときにアップルクラス(現在のパスカルキッズ)に入塾し、その後も珠算、小学部、中学部、予備校と、12年に渡ってカイチに通ってこられました。私が初めてYさんを担当したのは小学校6年生のとき。この学年は診断テストで何度も上位を独占するくらい、今福教室の中でも歴代最強クラスの生徒達が集まっていたのですが、そんな粒ぞろいの中にあっても、Yさんは他の生徒の見本となるような存在だったのを覚えています。カイチの学習部には入塾するときの約束事として通称「掟(おきて)」というものが存在しますが、これは「毎日コツコツ勉強する」「宿題を忘れずにやる」といった勉強に関するものだけでなく、「先生の言うことを素直に聞く」といった人間性に関するものも含まれており、どれも勉強で成果を上げるために不可欠なものです。Yさんが他の生徒の見本となる存在だったのは、その1つ1つの約束事をどれも当たり前のようにきちんと守っていたからです。「なんだ、そんなことか」と思った人もいるかもしれませんが、果たしてどれだけの人が「やって当たり前」という意識で取り組んでいるのでしょうか。毎日コツコツ勉強をする、宿題を忘れずにやる、宿題のやり直しは完ぺきにやる、診断テストの予想問題は3周以上やる、遅刻や欠席をしたら必ず補習を受ける、分からないところは必ず質問をして理解してから帰る、等々。みなさんの多くが、「今日は気分が乗らないから勉強は明日にしよう」とか、「ちょっと休憩するつもりでYouTubeを見てたら宿題が終わらなかった」といった経験をしたことがあると思います。それを思い出してもらおうと、この「やって当たり前」のことを毎日欠かさず続けるのがどれほど難しいことか分かってもらえるのではないのでしょうか。私の知る限りでは、Yさんは一度もこれらを怠ったことがありません。小学生であっても「自分を律する」ということがすでに出来ており、勉強する姿勢がこの時点で完成されていました。この姿勢が高校受験はもちろん大学受験においても大いに役立ち、志望大学への合格という結果につながったのです。

高校の勉強において、何よりもまず必要なものが「毎日コツコツ勉強する習慣」です。成績が低迷している生徒の大半は、まずこの習慣が身につけていません。中学までカイチに通っていた生徒でさえ、高校生になった途端にまったく勉強しなくなって成績が下がり、慌てて予備校に来るといふケースが多いのが実情です。逆に、Yさんほど完ぺきとは言わないまでもやはり同じように「やって当たり前」という意識で取り組んでいた生徒は、たとえ入学後しばらく苦労したとしても、少しずつ時間をかけて徐々に成績が上向いてくる傾向にあります。そういう生徒は、高3の受験勉強においても必ず伸びてきます。



この記事を読んでくれた皆さんは、ぜひ今の勉強に対する姿勢を一度見直してみてください。そして、1つ1つを「やって当たり前」という意識を持って取り組むようにしてください。そうすれば、将来の大学受験に向けて大きな武器を手に入れることができます。保護者の方々もぜひ今後のご参考にしてみてください。